

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2021年5月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年5月度ギャラクシー賞月間賞

サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん2時間SP

5月1日放送 19:00~20:54 テレビ朝日

世界遺産検定の最上級マイスターに史上最年少11歳で合格した高校生博士ちゃん。彼の「軍艦島の内部を見たい」という願いを叶えた回。軍艦島に詳しい伊集院光と、軍艦島の元住人をお供に、非公開エリアを探検。その迫力ある映像も貴重なものだった。

ストーリーズ 事件の涙「たどりついたバス停で～あるホームレス女性の死～」

5月1日放送 22:40~23:10 日本放送協会

バス停で路上生活者の60代の女性が男に突然殴られ殺されるという事件の被害者がどのような人物で、いかにしてバス停にたどりついたのかを追うと同時に、この事件をきっかけになぜ多くの人たちが、「彼女は私だ」と声をあげ始めたのかを追った。ポツンと置かれた狭いバス停の映像が、彼女が置かれた社会の状況を象徴していた。

報道特集**特集「森友問題・自殺した元職員の上司が語る」「スリランカ人女性・死の真相」**

5月1日、8日放送 17:30~18:50 TBSテレビ

「報道特集」の2つの特集は、報道特集の精神である「現場主義と調査報道、当事者の声に耳を傾けること」を体現していた。両特集とも、残された被害者家族の思いを伝え、番組自ら真相究明を目指す調査報道だった。

土曜ドラマ「今ここにある危機とぼくの好感度について」

4月24日~5月29日放送 21:00~22:14 日本放送協会 NHKエンタープライズ

「公に向けた言葉では意味を最小限に控えることが日本における正しいリスク・マネジメント」と言い切り、会見で何を聞かれても同じ文言だけを繰り返す戦略は、ドラマ放送2日後の国会答弁で総理による実演が見られて大いに笑いつつ泣きなくなった。風刺たっぷりのこの作品が土曜ゴールデンタイムで放送されたことに拍手を送りたい。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年8月号に掲載します